

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		ごみ処理事業費 [ごみ処理事業]										
予算科目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費	事業番号	1	
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	環境対策（ごみ対策） 課					ごみ減量 係		課長名	梶川 義夫			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 7			
【施策名】 ごみ減量とリサイクルの推進								総合計画書 (ページ)	97			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	ごみ・資源物					ごみ・資源物の収集量（集団回収分除く。）						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
2 指標の推移	収集したごみ及び資源物が処理され、再資源化されている。					再資源化率（集団回収分除く。）						
	→											
	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
	一部事務組合等により、ごみ及び資源物を中間処理及び最終処分し。再資源化する。					再資源化量（集団回収分除く。）						
3 経費	事業費（実績）					円	1,220,448,612	1,259,509,863	1,347,387,189	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,250,000円 時間単価は、 4,200円 で計算してください。 【算出根拠】 令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）		
	財源					円	838,498,744	830,779,151	949,922,189			
	一般財源					円	381,949,868	428,730,712	397,465,000			
	特定財源（国・都・他）					円	206,154,853	192,006,712	189,338,000			
（うち受益者負担）					円							
人件費（目安）					人	6.0	6.0	6.0				
所要人数(再任用以外)					人	0.0	0.0	0.0				
所要人数(再任用)					円	49,860,000	50,280,000	49,500,000				
職員人件費(再任用以外)					円	0	0	0				
職員人件費(再任用)					円	1,270,308,612	1,309,789,863	1,396,887,189				
事業費+人件費					円							
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和29 年度											
	(2) 環境の変化											
	平成18年度から、東京たま広域資源循環組合においてエコセメント化施設の本格稼働に伴い、焼却灰の埋立はしていない。 平成26年8月、収集体制の変更・一部戸別回収の実施。 平成26年10月、家庭廃棄物の有料化を導入。 平成30年度から、破碎不燃物の埋立は行われておらず、民間事業者のもとで再資源化されている。 平成31年4月、小平・村山・大和衛生組合 資源物中間処理施設が稼働開始。 令和2年4月、小平・村山・大和衛生組合において不燃・粗大ごみ処理施設が稼働する。											

事業名称	ごみ処理事業費 [ごみ処理事業]			
担当部署・課長名	環境対策（ごみ対策）	課	ごみ減量	係 課長名 梶川 義夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 平成26年8月1日から実施した戸別収集については、可燃ごみ・不燃ごみ・容器包装プラスチックとなっており、資源物はステーション式であることから、資源物についての戸別収集が望まれている。また、排出が困難な高齢者からの要望もある。		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：④ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 廃棄物の発生抑制と分別のさらなる徹底に向けた啓発に努める。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 ホームページやごみ分別アプリ、廃棄物広報紙を活用して、廃棄物の排出抑制やごみの適正排出に向けた啓発に取り組んだ。		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 廃棄物の発生抑制と分別のさらなる徹底に向けた啓発に努める。		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： ごみ減量とリサイクルの推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 引き続き、搬入割当量を下回るよう、発生・排出抑制を促進する周知等を行う。		
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	廃棄物広報紙「ごろすけだより」やごみ分別アプリ等の活用により、市民・事業者の廃棄物減量を促進する。		